

阿蘇くじゅう国立公園 長者原ビジターセンターからお届けする

くじゅうだより

TAKE
FREE!

くじゅうを
歩こう!

夏のひんやりトレッキングコース 男池湧水～名水の滝 編

2019 夏号

表紙写真:男池散策道(大分県由布市)

くじゅうファンクラブ活動情報

*平成28年5月31日から、「くじゅう地区管理運営協議会」の通称名称が、「くじゅうファンクラブ」となりました。

皆さまのご支援で、
こんな活動をしています。

- 教育・普及啓発
- 自然環境保全・調査
- 登山道等維持管理

チームタデ原 猪の瀬戸湿原の見学

「チームタデ原」は、地元九重町の小中学生からなる、湿地保全活動にとりむグループです。4月20日(土)、タデ原と同じく野焼きがおこなわれている湿地である「猪の瀬戸湿原」の見学に行ってきました。猪の瀬戸は由布岳と鶴見岳の間にある小さな湿原で、一時途絶えていた野焼きを復活させて、サクランソウなどの花が増えてきたそうです。人の手を入れない自然保護のほかに、人がかかわることで守られる自然保護もあることを、タデ原とは違う場所で学ぶことができ、有意義な研修になりました。屋は志高湖でお弁当と散策を楽しみ、帰りは由布岳山ろくでキスミレやエヒメアヤメを観察し、楽しい一日でした!



タデ原で野焼きが行われました!

3月23日(土)に泉水山・タデ原湿原で野焼きが行われました。野焼きは春に枯れた草木に火をつけて焼き払い、草原景観を保つために必要な活動です。タデ原は火をつけてからおおよそ2時間程度で一面真っ黒な大地になりました。くじゅうファンクラブでは、皆様のご支援で野焼き時に必要な物品の購入を行っています。これからの季節7・8月は、タデ原でたくさんの花を見ることができます。ぜひ遊びに来てください。



牧の戸峠登山ミニレクチャーを実施しました

6月2日(日)くじゅう山開きが久住山山頂で行われました。当日はあいにくの雨でしたが、多くの登山者がつめかけました。くじゅうファンクラブでは牧ノ戸峠登山口にて、登山のルールやマナーの他、久住分かれのトイレの利用方法などについて、登山者の皆様へ呼びかけをおこないました。



登山者の皆様へお願い

牧ノ戸峠から久住山へ向かう途中、「久住分かれ」にあるトイレは、パイオトイレとして微生物による浄化処理が行われていますが、処理能力には限界があります。近年、連休中やミヤマキリシマの時期に、許容範囲を超えた利用があり困っています。山岳トイレとしての特性をご理解のうえ、登山口のトイレを優先してご利用ください。



- ・久住分かれのトイレは緊急避難用です。「念のため」「とりあえず」といった利用はオーバーユースの原因になりますので、ご遠慮ください。
- ・維持管理に多大な労力が必要なため、協力金制(100円)としています。
- ・定期的に清掃を行っていますが、利用者が多い時には清掃がおいつきません。
- ・水源は雨水と再生水です。水が流れないときには棒で押し込んでください。
- ・備え付けのトイレトイレットペーパー以外は使用しないでください。
- ・ごみは捨てないでください(生理用品含む)。
- ・登山の前には必ず登山口のトイレで用をお済ませください。

オオハンゴンソウ駆除活動に協力しています

6月22日(土)、飯田地区まちづくり協議会主催の「オオハンゴンソウ駆除活動」がおこなわれました。オオハンゴンソウは、環境省から特定外来生物に指定されており、栽培や移動が禁止されている植物です。夏に黄色い花を咲かせ、飯田高原でも生育地を拡大させていて、希少種や地域独特の景観への影響が心配されています。この日は、参加者一人一人の手でオオハンゴンソウを根から掘り取り、茎を切り落として、ゴミ袋に入れて回収しました。なんと36袋も!くじゅうファンクラブスタッフも、チームタデ原のメンバーたちと一緒に汗を流しました。これからも地域の人たちの地道な活動を支援していきます。



特定外来生物 オオハンゴンソウ▶

阿蘇くじゅう国立公園・タデ原レクチャー

<参加費無料/要予約(団体向け)>

学校などの団体向けプログラム。国立公園の概要やタデ原湿原についてなどのレクチャーを15分~30分程度で行います。お気軽にご相談ください。



タデ原の自然観察会

<参加費無料/事前申込不要(個人の場合)>

九重の自然を守る会のボランティアガイドによる人気のイベント。毎週日曜・祝日10:00~12:00に開催しています(8月は土日祝開催)。参加希望の方は10時までに、直接ビジターセンターへお越しください。学校などの団体の観察会は、ご相談ください。



くじゅうだより2019夏号

発行元:くじゅうファンクラブ
(くじゅう地区管理運営協議会)
879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野255-33
長者原ビジターセンター
TEL & FAX 0973-79-2154
くじゅうファンクラブホームページ:
<http://kujufanclub.com/>

★くじゅうの最新の自然情報
などはフェイスブックで!

<https://ja-jp.facebook.com/choujabaruvisitor/>

★活動報告やくじゅうの基本情報
などはくじゅうファンクラブ
ホームページで!

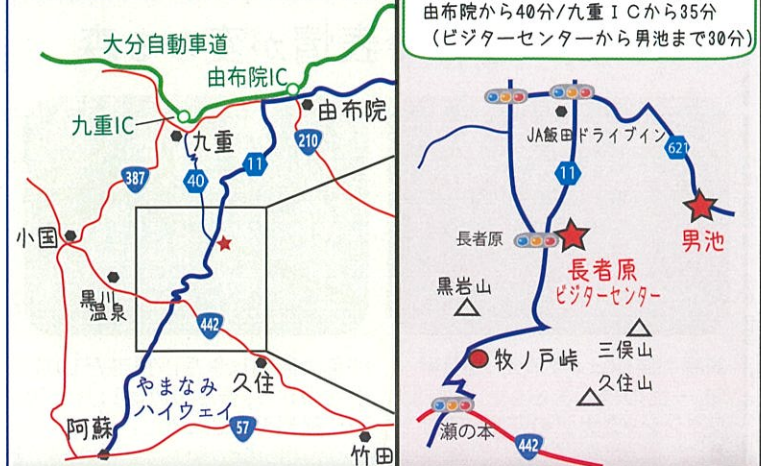
<http://kujufanclub.com/>



リレー式 職員からのひびこ

はじめまして。4月から長者原ビジターセンターで働いています伊東と申します。これまでと全く違った環境で働いていますので、日々勉強の毎日です。ミヤマキリシマの時期が終わり、本格的な夏山シーズンになりました。夏山登山は楽しく、くじゅう連山の自然を満喫できますが、常に危険と隣り合わせだと思います。「安全第一」でくじゅうの自然を思う存分満喫して、心身ともにリフレッシュしていただければ幸いです。(伊東)

長者原ビジターセンター&男池へは



長者原ビジターセンターまで車で、
由布院から40分/九重ICから35分
(ビジターセンターから男池まで30分)

夏のひんやりトレッキングコース
ぐるっと1周約1時間
男池湧水～名水の滝

標高850m

くじゅう連山の東側に位置する黒岳は、高塚山・天狗岩・前岳などのピークからなる山で、山腹一帯にブナやカエデの落葉広葉樹林が発達した、くじゅう連山で唯一の原生林地帯です。この黒岳山麓には、「日本名水百選」にも選ばれた「男池湧水」があります。

今回は、この男池湧水から名水の滝までのトレッキングコース(全長約1.4km)を紹介します。このコースは、男池湧水群から湧き出した清流沿いを歩くルートで、森の中は涼しい風が通り抜けていきます。マイナスイオンをたっぷり浴びながら、散歩してみませんか？

01 男池入口



男池入口に清掃員詰所があり、ここで清掃協力金100円を払って入場する。遊歩道を道なりに進もう。
(男池清掃員詰所 TEL:097-585-1920)

02 男池湧水 環境省日本名水100選ダヨ



男池湧水は1日に約2万トンの湧出量を誇る湧水である。水温は年間を通して12°C程度と変わらない。男池湧水は、周辺の山に降った雨が約1年かけてゆっくりと地下を通り、湧出してきたものと考えられている。



湧水のほとりまで降りて、水を飲むことができる。美しい池のほとりでほっと一息。

03 ケヤキの大木



男池湧水を過ぎてから上の台散策コースに少し入ると、樹齢400年以上のケヤキの大木が現れる。周辺にはコナラやカエデ類、シラキなどが見られる。森の歴史を感じられるスポット。

ちよこつメモ



この周辺では3月下旬に春一番に咲くユキワリイチゲの花が見られる。

Check! 季節で表情が変わる森



新緑の時期は4月下旬～5月中旬。一面の緑がまぶしい。同時期ツクシヤクナゲの花も開花する。

紅葉の時期は黒岳山頂帯が10月中旬頃から、男池周辺は11月上旬頃に最盛期を迎える。



急坂は続くが滝まで遊歩道が整備されている。

至 白水鉱泉・長湯方面



左側の散策コースへ

至 県道11号線(やまなみハイウェイ)方面
*道幅狭いため注意

散策コース周辺で8月に見られる花



ハガクレツリフネ



フシグロセンノウ



ヤマホトトギス



ソバナ



7月下旬から8月中旬にかけて、キツネノカミソリの花がたくさん見られる。この散策道のハイライト。



名水の滝に到着!滝の迫力を目の前で感じることができる。川には飛び石があり、渡ることができる(増水時は渡渉不可、滑りやすいので注意)。帰りは県道621号線に出るほうが早いですが、道が狭いため、車には十分気を付けよう。